

# 女性委員会ニュース

◇ 平成 18 年度新入会員歓迎企画 ◇  
見学会：鉄の教会  
一神戸新生バプテスト教会一  
古川智子



前日までの雨続きだった空の様子は、雲ひとつ無い晴天へと変わり、最高の見学日和となりました。目の前に広がる美しい神戸の町の景色と共に、山道を走るバスは私たちを御影駅から見学現場へと運んで行きます。この優雅な街を代表する近代建築である『鉄の教会』とは、どれほどまでにすばらしい建築なのか……。私の、教会へ対する期待感が高まっていくばかりでした。周りの風景が、次第に閑静な住宅地へと変わっていき、山道から平坦な道へ入った頃バスを降りました。その後しばらく辺りを見渡してみるものの、バス停の前にあるべき教会が見当たりません。「教会はどこ・・・？」もう一度よく探してみると、そこにあったのは、教会建築という常識とはかけ離れた、それが「建物」であるということさえも認知することが困難なほどの、一面の「真っ白な壁」でした。同時に、私が持っていた「鉄」というイメージは一瞬にして破壊され、太陽に照らされ、揺れ動く木々の影に包み込まれるようにして存在する「白い

壁」に、ただ魅了されるばかりでした。そして、それは正面に近づくにつれて、徐々に建築という本来の姿をあらわにしていきました。「白い壁」の正体である「鉄壁」の堅固さとは対照的に、教会のファサードは、壁一面がガラスブロックで構成されていました。規則正しく、格子状に敷き詰められた正方形のガラスブロックの、繊細さという鉄とは正反対の要素にもかかわらず、これら二つの素材は見事に調和され、その透き通るような美しさに心が吸い込まれるほどでした。9mmのスチールシートと比べ、何段にも積み重ねられたガラスブロックの厚みは、その約10倍、ガラス特有のもろいという性質からは想像もつかないほどに重量感のある扉を開けて初めて、この常識を超えた教会の内部に入ることが出来ました。

鉄・ガラス・コンクリートといった、近代建築に不可欠な三大建材に包まれた空間は、私たちの想像する冷ややかなものではなく、例えようの無いほどに温かみを帯びたものでした。礼拝堂内に並べられた手作りの木製ベンチ、ガラスブロックを通して美しくきらめく木漏れ日、そして、時折り赤い雪のように舞い降りてくるスチールシート壁の錆びのかけら。その限りなく禁欲的な空間の中の、どんなささいな瞬間をも含めた全ての現象によって生み出される、最高に贅沢な時間がそこには在りました。鉄による圧迫感でもなく、ガラスの冷然さでもない、建物内に入って初めて認識することの出来る、教会建築にふさわしい柔らかな空間。この教会の礼拝堂には、電気設備も、空調設備もありません。暗くなれば蠟燭の灯を燈し、暑くなればスチールシート壁際のスリット状の開口部を開いて風を通します。その「自然との共存」が、これほどまでに暖かく優しい空間を創り出しているのかもしれない

発行 (社)大阪府建築士会 女性委員会  
発行日 2007年3月1日  
540-0011 大阪市中央区農人橋 2-1-10  
tel06-6947-1961 fax06-6943-7103  
mail info@aba-osakafu.or.jp

せん。ある一定の比率に従って設計された、秩序ある空間。唯一それを壊そうと図る、正面入口左端に備え付けられた階段。美しい弧を描くようにして続くコンクリートの螺旋階段を下りると、教会の地下部分にたどり着きます。赤い鉄から灰色のコンクリートへ。アーチ状に模られたヴォールト天井の下に広がる地下空間は、上階の礼拝堂以上に教会らしさを秘めているようにも思われました。

私の目には、この教会の最大の特徴とも言える、仕上げ材を一切使わない、柱の存在すらをも拒否した極限にまで単純化された構造は、他のどれほどに装飾された建築物よりも贅沢に映りました。世界中の先進国の中で、第一の物質社会国に生まれ育った私は、「物が有るのが当たり前」の生活に慣れ、それに対して感謝することさえなくなっていました。今では逆に、物が有りすぎると現実に對して不快感を抱き、物の無い、自ら知恵を出し工夫する生活に魅力を感じています。「物の無いことは、裕福なことです。」今回の「最小限の建築空間」での体験は、改めて私にその大切さを気づかせてくれた、すばらしい見学会となりました。今後、このような機会に多く巡り会えることを願っています。



◇ 平成 18 年度近建女合同見学会 ◇  
重要文化財 萬福寺松隠堂客殿ほか  
3棟保存修理工事 見学会



台風が近づいていたために天候が心配

されていましたが好天に恵まれ一日楽しく過しました。重要文化財指定の建物について、(社)全国国宝重要文化財所有者連盟の事務局長である後藤佐雅夫先生にお話を伺うことができて大変勉強になりました。大阪でもこのような機会を作ってもっとお話しをお聞きしたいと話しました。万福寺はとても中国色の強いお寺で、雲水さんの昼食と重なり修行の厳しさを痛感しました。また、初めての普茶料理は見た目以上に量が有り、満腹を通り越した状態でした。皆大変おいしく頂きま

した。昼食後の松隠堂修復現場は既に柿葺きが完成して、葺く工程が見られなかったことは残念でした。でも棟瓦の載せ方を瓦職人の方から丁寧に説明していただき、下から見るのと違って非常に大きな創建時の鬼瓦を目の前で見ることができました。なかなか足場のある状態で見学できることが少ないので良い経験になりました。また、会の後にはおいしい宇治茶の喫茶店に案内して頂き、別腹を堪能致しました。大感激でした。

## 大阪府建築士会・女性委員会からのお知らせ

<お知らせ内容>

- ①女性委員会平成 19 年度委員・研究会メンバー募集<他委員会の委員も募集しています>
- ②平成 18 年度の女性委員会の活動  
委員会活動 研究会活動
- ③募集中の行事案内
  - 4/7 (土) 合同発表会「CORE 2007」(女性委員会・青年委員会・シックハウス研究会)
  - 新入会員歓迎企画 5/19 (土) 見学会「苦楽園の家」～大江一夫氏の住宅作品～
  - 女性委員会への要望等アンケートと行事申込書

■評議員選挙の投票についてのごお願い

投票用紙は本会会報誌「建築人」の3月号に挟み込まれています。正会員の方は、必ず投票されるようお願い致します。投票は無記名で、40名以内で〇印をつけ下さい。締め切りは3月31日です。(当日消印有効)

**※女性委員の候補者 5名全員が当選するようにご協力をお願いします。**  
池本慶子 新治(鈴木)照美 相馬智香江 中島 薫 水畑真知子 溝尻純子

■事務局からのごお願い

本会への届出事項に変更が生じた場合 ⇒ 氏名・会員番号と変更事項を明記の上、fax 又は郵送で事務局まで  
\*建築士合格後、準会員から正会員になる手続きをされていない方は氏名・会員番号・建築士登録番号・登録年月日を明記して、事務局までご連絡ください。会員番号が 200 万台から 100 万台に変更になります。  
\*2 級建築士の方で、1 級建築士になられた方は氏名・会員番号・建築士登録番号・登録年月日を明記して事務局までご連絡下さい。  
※特に新しく建築士になられた方や 2 級から 1 級になられた方で大阪府以外での登録の方は必ずご連絡ください!

女性委員会とは

女性会員が中心となって企画・運営を行っています。公私とも多忙な女性建築士ですが、チームワークと協力体制で、実り多い活動をモットーとしています。(女性会員約 330 名 委員 41 名)

★平成 19 年度委員募集 (次員の活動詳細をご覧ください)  
平成 19 年度の委員になって下さる方を募集します。  
平成 19 年度は更に活発な活動と新企画で、会員の皆様にとって有意義な活動を展開していきます。皆様のご意見、ご希望を活動に反映したいと願っています。

※委員の任期 原則 2 年・再任可  
建築士という職種を広く一般にアピールし、建築士の社会的地位向上を得るための活動を女性の視点にたって行っています。興味のあること、知りたいこと、なんでも一緒にやってみませんか?

職場の限られた人間関係だけでなく、いろいろな人と出会い、交流を楽しみながら、建築士としての知識を増やし、

☆女性委員会以外の委員会の委員も合せて募集しています。  
各委員会とも女性会員の方に委員になっていただきたいとの要望が出ております。希望される委員会があれば委員として名乗りを上げていただきたくお願いします。同封の女性委員会宛での用紙で返信下さい

## ★研究会メンバー募集

- ・シルバーライフ研究会
- ・住・空間らぼ

・木の文化と建築を考える会（現在休会中）  
各研究会は隔月で活動を続けています。各研究会のモットーや今年度の活動内容は最終頁をご覧ください。男性会員の

方も参加歓迎です。メンバーとして参加したいという方は、fax、メール等で事務局までご連絡下さい。  
なお、メンバーになりたいと考えておられる方へのガイドランスも兼ねて合同発表会を4/7（土）に行います（詳細別紙）ので、奮ってご参加下さい。一緒に活動いたしましょう！

## 女性委員会平成18年度活動内容と平成19年度の活動モットー

委員長／材寄法子 副委員長／石貫方子 竹田敦子 藤原由紀 主査／春岡須磨子 副主査／中島 薫 委員総数 41名  
委員会：全体会議 4/1 5/17 8/5 12/16 3/7 グループ会議 適宜

### A 企画グループ

建築計画や設計施工に関するセミナーはもとより、日頃から興味を持った建築物、構造物に直接出向き、その由来、根拠、テクニック等々についてのお話しを伺いながらの見学など、盛りだくさんに活動を広げています。

企画が決まりましたら「建築人」などでお知らせしています。ご参加は勿論のこと、メンバーになって貴方の企画を実施してみませんか？お待ちしております。

リーダー：所 千夏 サブリーダー：鶴川和子

委員：浅田 環 池淵皇代 池本慶子 井上まるみ 上田仁美 小川裕香 新治照美 関 朋子 相馬智香江 田代加奈 田中淑子 堂園友紀子 戸田美也子 中西徳江 西川三記子 西田多美子 西野智子 林田絹代 平川真理 藤原智美 溝尻純子 村上あい 山平恵子 山本堯子 山本尚子 分田よし子

#### \*平成18年度実施事業

##### 1. 新入会員歓迎企画

見学会「鉄の教会～神戸新生バプテスト教会～」5月20日(土) 講師 木村博昭氏

##### 2. 福祉住環境コーディネーター2級 受験対策講座 講師 相馬智香江 竹田敦子 西田多美子 山本尚子

・春期：5月14日(日)、21日(日)、6月3日(土)、11日(日)、18日(日)

・秋期：9月30日(土)、10月7日(土)、14日(土)、22日(日)、11月5日(日)

##### 3. ちょっと知りたい建築セミナー

・設備編 ～体験してみよう～「住まいの灯り演出手法」5月25日(木)、6月9日(金) 講師 崎山昌治氏

・設備編 ～住まいの灯りシリーズ～「住まいの灯りプランニング」9月21日(木) 講師 崎山昌治氏

・設備編 「エネルギーの持続・自立を目指した住宅設計」11月29日(水) 講師 兵藤幸治氏 神宿倫一氏 辻裕伸氏

・福祉編 介護保険改正より半年余りが過ぎて～現場よりの報告 2月27日(火) 講師 熊岡啓子氏 高橋那長氏

### B ユーザー向け事業

#### \*ユーザー向けセミナー

・連続ユーザーセミナー「女性建築士と考える 知って得する住まいづくりのコツ～あなたは損をしていませんか？～」

第1回1/27 住まいづくりのコツ ～癒しの灯りを体験～

第2回2/10 使い勝手のコツ ～キッチン、水廻り、収納～

第3回2/24 建築士とのかかわり方 ～女性建築士に聞いてみよう…フリートーク～

・住まいのなるほどセミナー（主催：大阪市立住まい情報センター）

『住まいのバリアフリー』 12/16（土）講師：竹田敦子

『マンションリフォームを考える』 3/17（土）講師：山本尚子

#### \*「住宅を設計する仲間たち」（登録制）

・作品展示 ・HPでの設計者検索

・ファイル閲覧 ・住まいの設計相談会

### C その他の活動

①全国女性建築士連絡協議会 7/21（金）・22（土） 於：東京／7名参加

②近畿建築士会協議会女性部会 会議 6/14（水）

③近建女合同見学会 9/15（土） 黄檗山萬福寺見学会（伽藍建築群の見学、松隠堂の修復現場見学）担当：京都

④大阪市社会福祉研修・情報センターへの住宅改造相談員派遣

住宅改造にかかわる専門相談 相談日：毎月第2・4火曜日 相談員：主に女性委員会シルバーライフ研究会メンバー

### D 研究会グループ

#### シルバーライフ研究会

リーダー／渡辺和世 サブリーダー／小林美登 土佐安紀子 メンバー／31名

定例会／偶数月の第2水曜日 午後6時半～8時半（原則）

◆平成18年度はまず改正介護保険制度に焦点を当てて施行までの流れとその内容について勉強会を持ちました。また建築士の視点で「高齢化の進むニュータウンの取り組みについて」や、「メーカーの高齢者用商品開発について」も学びました。19年度は当建築士会の組織改変に伴う新体制での新たなスタートとなりますが、更に高齢者を取り巻く環境や特性をよく知り、理解し、高齢期を快適に過ごせる良質な住空間の提供ができるよう、考察を深めていきたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。

#### <H18年度活動内容>

4月例会 勉強会「バリアフリー展2006」参加者からの報告

6月例会 勉強会「改正介護保険について」検証

8月例会 見学会「高齢者デイサービスセンター+グループホーム」

9月臨時勉強会 「千里ニュータウンについて～藤川重一先生のお話を聴く会～」

12月例会 メーカー研修「フランスベッド・メディカルサービスの福祉機器について」

2月例会 メーカー研修「TOTOの高齢者商品開発について」

3月例会 今年度のまとめと反省、来年度のスケジュール検討、新リーダー決定

#### 住・空間らぼ

リーダー／小川玲子 サブリーダー／倉田佳代子 菅井真樹子 メンバー／30名

定例会／奇数月の第2水曜日 午後6時半～8時半（原則）

◆平成18年度4月より「健康住宅研究会」から「住・空間らぼ」に名称変更し、これまでの『健康的な住まいづくり』については勿論のこと、より広範囲で住まいを考え実務的な材料、構造についての勉強をはじめとして、癒し等を含め『住まいづくり』について学んできました。研究会での意見交換は、氾濫する情報の整理に役立っています。常に様々な事に興味を持ち、建築士としての質の向上をめざし、一緒に『住・空間』について勉強していきませんか？

#### <H18年度活動内容>

4月例会 18年度の年間計画

5月例会 塗壁体験教室～協力：(株)梅彦

7月例会 勉強会「木造住宅 耐震金物について」

9月例会 勉強会「外断熱工法について」

10月特別例会 吉野の山の見学会

11月例会 「吉野の山の見学会」報告

1月例会 勉強会「癒しの空間」

3月例会 18年度の反省と19年度の計画